



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 トーモク
 コード番号 3946 URL <https://www.tomoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月1日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

(氏名) 中橋 光男

(氏名) 山口 禎人

TEL 03-3213-6811

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	126,186	△1.7	3,982	9.6	4,167	9.1	2,704	13.7
2020年3月期第3四半期	128,303	4.0	3,635	21.4	3,820	13.9	2,379	19.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,213百万円 (43.0%) 2020年3月期第3四半期 2,246百万円 (25.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	165.46	150.98
2020年3月期第3四半期	145.56	132.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	158,877	67,346	42.1
2020年3月期	146,646	64,872	44.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 66,877百万円 2020年3月期 64,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,000	0.2	7,100	2.7	7,400	4.1	4,600	0.8	281.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	19,341,568 株	2020年3月期	19,341,568 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,997,338 株	2020年3月期	2,996,664 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	16,344,614 株	2020年3月期3Q	16,345,647 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・2021年1月1日付で連結子会社であるスウェーデンハウス株式会社は株式会社スウェーデンハウスに、トーウンサービス株式会社は株式会社トーウンに、北洋交易株式会社は株式会社北洋交易に、スウェーデンハウスリフォーム株式会社は株式会社スウェーデンハウスリフォームに、プライムトラス株式会社は株式会社プライムトラスにそれぞれ商号を変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、新型コロナウイルス感染拡大により、段ボールにおいて減収となりましたが、住宅事業の回復もあって増益となりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は126,186百万円（前年同期比1.7%減）、経常利益は4,167百万円（同9.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,704百万円（同13.7%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

当社グループの国内段ボール生産量は前年同期比でマイナスとなりました。

販売数量は、巣ごもり需要である食料品向けや通販・宅配向けの割合が高く、国内需要の落ち込みまでは減少しませんでした。

段ボールの売上高は73,176百万円（前年同期比4.4%減）となりましたが、燃料費や電力料の減少などコスト削減に努め、営業利益は4,454百万円（同0.6%増）となりました。

〔住宅〕

住宅市場においては、感染症拡大による外出自粛の影響で展示場来場者が減少したことなどにより、住宅着工戸数は前年同期比約10%減と低調に推移しました。

スウェーデンハウスの様々な情報を発信するアプリ「ムースくん」の配信やバーチャル展示場などのWEB活用を強化し、またコロナ禍で変化する「新しい生活様式」に対応した規格型住宅を販売するなど、より若い世代への購入動機付けに注力してまいりました。その結果、契約棟数は前年同期比18%増、売上棟数も同13%増となりました。

これらの結果、住宅の売上高は25,012百万円（前年同期比10.3%増）となり、売上が第4四半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅事業の特性から、営業損失は1,178百万円（前年同期は営業損失1,557百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸部門においては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛や在宅勤務の浸透により、当社グループの主力である飲料製品のコンビニエンスストア向けや自動販売機向け等の取扱数量が減少しました。

倉庫部門においては、関東エリアでの新規飲料センターの受託や東北エリアでの新規センターの開設などにより、増収となりました。

運輸倉庫の売上高は、取扱数量の減少により27,996百万円（前年同期比3.7%減）となり、営業利益は数量減による輸送効率の悪化によるコスト上昇もあり1,248百万円（同5.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金やたな卸資産、有形固定資産の増加等により前連結会計年度末比12,231百万円増加し158,877百万円となりました。負債は長期借入金やその他流動負債の増加等により前連結会計年度末比9,757百万円増加の91,531百万円となり、純資産の部は利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比2,473百万円増加の67,346百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2020年10月26日に発表いたしました業績予想の達成に引き続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,559	11,252
受取手形及び売掛金	29,524	31,736
電子記録債権	3,374	3,058
たな卸資産	10,543	13,271
その他	4,578	5,441
貸倒引当金	△69	△43
流動資産合計	58,510	64,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,435	23,876
機械装置及び運搬具（純額）	14,239	13,144
土地	33,032	32,907
その他（純額）	1,960	8,762
有形固定資産合計	73,667	78,691
無形固定資産	242	238
投資その他の資産		
投資有価証券	8,459	9,219
その他	6,022	6,264
貸倒引当金	△255	△253
投資その他の資産合計	14,225	15,229
固定資産合計	88,135	94,160
資産合計	146,646	158,877

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,666	19,961
短期借入金	3,676	3,876
1年内返済予定の長期借入金	4,657	2,837
未払法人税等	1,530	474
賞与引当金	1,758	839
その他の引当金	253	186
その他	7,700	16,063
流動負債合計	39,244	44,240
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	2,999	2,999
長期借入金	30,579	33,984
退職給付に係る負債	3,829	3,827
その他の引当金	644	588
その他	4,477	5,891
固定負債合計	42,529	47,291
負債合計	81,773	91,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,226	11,226
利益剰余金	41,268	43,236
自己株式	△4,320	△4,321
株主資本合計	61,844	63,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,874	3,392
繰延ヘッジ損益	△45	13
為替換算調整勘定	△148	△253
退職給付に係る調整累計額	△61	△86
その他の包括利益累計額合計	2,618	3,065
非支配株主持分	409	468
純資産合計	64,872	67,346
負債純資産合計	146,646	158,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	128,303	126,186
売上原価	107,375	105,184
売上総利益	20,928	21,002
販売費及び一般管理費	17,293	17,019
営業利益	3,635	3,982
営業外収益		
受取利息及び配当金	195	177
仕入割引	136	129
雑収入	233	253
営業外収益合計	565	560
営業外費用		
支払利息	134	124
為替差損	70	110
雑損失	175	140
営業外費用合計	380	375
経常利益	3,820	4,167
特別損失		
固定資産処分損	100	28
減損損失	1	1
特別損失合計	102	29
税金等調整前四半期純利益	3,718	4,137
法人税、住民税及び事業税	1,654	1,524
法人税等調整額	△387	△153
法人税等合計	1,267	1,371
四半期純利益	2,451	2,766
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	61
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,379	2,704

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,451	2,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	517
繰延ヘッジ損益	△0	58
為替換算調整勘定	△52	△104
退職給付に係る調整額	△69	△24
その他の包括利益合計	△204	446
四半期包括利益	2,246	3,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,174	3,151
非支配株主に係る四半期包括利益	72	61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。当社グループの2021年3月期の固定資産の減損会計における将来キャッシュ・フローや繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りにおいては、第1四半期に政府から発令された緊急事態宣言や自治体からの外出自粛要請等により厳しい制約の下で経済活動が行われるため、受注減が発生し、2021年3月期後半より回復する前提での仮定を置いておりましたが、現状を鑑み再度検討を行った結果、感染拡大の影響は当連結会計年度末ごろまで継続するものとして前提を変更し、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	76,560	22,667	29,075	128,303	—	128,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	314	2	3,404	3,720	△3,720	—
計	76,875	22,669	32,479	132,024	△3,720	128,303
セグメント利益又は損失(△)	4,427	△1,557	1,318	4,187	△552	3,635

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△552百万円には、セグメント間取引消去47百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△599百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	73,176	25,012	27,996	126,186	—	126,186
セグメント間の内部売上高 又は振替高	503	0	3,770	4,274	△4,274	—
計	73,680	25,013	31,767	130,460	△4,274	126,186
セグメント利益又は損失(△)	4,454	△1,178	1,248	4,524	△541	3,982

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△541百万円には、セグメント間取引消去50百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△591百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。